



金属加工のプロフェッショナル！ 車を動かすための小さな部品を作ります。

もっと、くわしく
みてみよう！

株式会社加藤製作所
所在地／豊川市本野ヶ原3丁目75番地 TEL.0533-86-4558 <https://www.toyokawa-katou.co.jp>
創業／1960年(昭和35年) 従業員数／139名(2025年12月現在)



職場見学可能です

私たちの仕事

車の中には、外からは見えないけれど、大切な小さな部品がたくさんあります。私たちの仕事は、そんな手のひらサイズの金属の部品を製造すること。作った製品を磨いたり、形を整えたり、検査したりもします。また、製品を作るために必要な機械(金型)の設計やメンテナンスも行います。



この部品はなんの金属でできているでしょう？

アルミ・銅・鉄・ステンレスなど、いろいろな金属で製品を作ることができます。だから、車のさまざまな場所にぴったり合う部品を作ることができるのです。



ヒント

銅や鉄の1/3ほどの軽さで、劣化しにくく、加工しやすい金属です。リサイクルがしやすいのも良いところ。

ヒント

やわらかくてサビにくく、菌を寄せ付けにくい性質があります。銀の次に電気や熱を通しやすいです。

ヒント

硬くて強い金属です。加熱したり、ほかの金属を混ぜることで、性質を自由に変えることができます。

ヒント

とてもサビにくいので、いつまでもキレイな状態が保てます。強度が高く、熱に強い性質もあります。

鉄

ハサミ

アルミ

1円硬貨

ステンレス

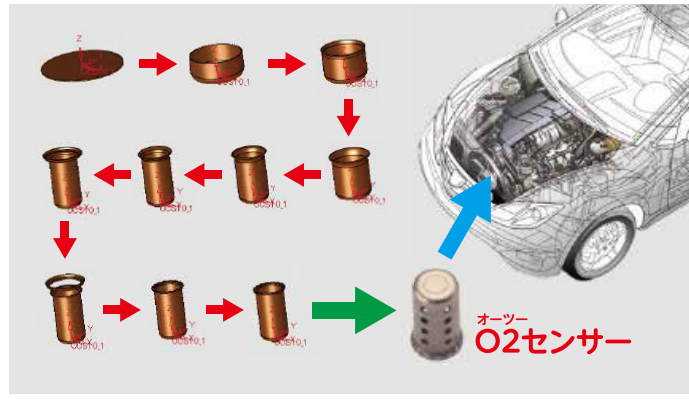
水筒

銅

10円硬貨

部品ができあがるまでの流れを教えてください！

金属の板を何回も何回もプレス機でギュッと押し、少しずつ形を変えていきます。



1回目ですと形を作る、2回目ですさらに形を整える、3回目ですと細かくする…という風に、何度もプレスして、最後にぴったりな形にします。この方法を使うと、たくさんの部品を速く・正確に作ることができます。

豆や小指の爪
くらいの大きさの部品も
製造できます。



部品を製造するための機械も作っているってホント？

車の部品を作るため、特別なロボットや機械のラインを、自分たちで考えて作っています。つまり、部品に合わせて「この機械がいいかな？」と設計して、自分たちで作るのです。さらに、夜になると人はお休みしますが、ロボットや機械は自動で動き続けます。これを「夜間無人運転」といいます。こうすることで、毎月6,000万個もの部品を効率よく作ることができます。

6,000万という、
日本の人口の
約半数だね！



はたらく人の声
製造部 生産1課
高井 秀雄さん



技術部 金型課
古川 輝明さん

自動車部品をプレス加工し、洗浄や組付けなどを行います。私たちの製品が使われている新しい車を町で見かけると、やりがいを感じます。これからも安全・安心をモットーに仕事に取り組んでいきます。

プレス機にセットする金型の修理をしています。一つひとつの部品を、丁寧に磨いて修理します。修理して復活した金型が、期待通りに動いて製品を生み出し続ける瞬間が、金型修理の喜びです。